

JIS A 6909 複層塗材 RE F☆☆☆☆

反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材

DIA

ダイヤエポソE1液型

一液形反応硬化形エポキシエマルジョンを採用することで従来の2液形複層塗材REの1液化を実現し、作業効率のアップを図りました。

- 特長
- 反応硬化形エポキシエマルジョンを採用しており、従来の2液タイプと同様に優れた付着性を示します。
 - 一液形なので取扱が簡単で、性能のバラツキがありません。
 - エポキシエマルジョンの反応硬化により強靱で耐久性に優れた塗膜を形成します。

吹付け仕様	工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具
						工程内	工程間	
1	下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類及びレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。 豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤフィラー、ダイヤセメントフィラー、またはセメンシヤス#2000等で平滑に補修して下さい。						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg —	0.10~0.15kg/m ² 100~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、エアレス 中毛ローラー
3	主材吹き	ダイヤエポソE(1液型) 清水	20kg 0~0.4%	1.3~1.5kg/m ² 13~15m ² /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
4	凸部処理	主材吹き後、20分以内にプラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押さえる。 ※凸部処理は押さえ模様の場合のみ行ないます						
5	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水	16kg 0.5~2.0%	0.25~0.35kg/m ² 46~64m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー

ゆず肌 ローラー仕様	工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具
						工程内	工程間	
1	下地調整	上記参照						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg —	0.10~0.15kg/m ² 100~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、エアレス 中毛ローラー
3	主材塗り	ダイヤエポソE(1液型) 清水	20kg 0.8~1.2%	1.1~1.3kg/m ² 15~18m ² /缶	1	—	24時間以上	多孔質ローラー
4	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水	16kg 0.5~2.0%	0.25~0.35kg/m ² 46~64m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、エアレス 中毛ローラー

※上塗材には各種水系、溶剤系、弱溶剤系仕上材が施工可能です。(上記は仕様例)

適応下地

- コンクリート、モルタル面、PC板、窯業系押出し成型板、ALC版などの各種ボード

施工・管理上の注意

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合、及び降雨・降雪時又それらが予想される場合には、施工を中止して下さい。
- 清水で希釈する場合、薄め過ぎるときれいに仕上がらないことがありますので調合割合を厳守して下さい。
- 材料は付着乾燥しますととれませんので完全に養生をして下さい。
- 材料の保管は、凍結や温度上昇による変質を避けるため、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光を受けないようにして下さい。
- 屋上防水、目地配水管など、水の浸透が予想される箇所については、事前に充分点検し、適切な処置をして下さい。
- その他、仕様書、MSDSをご参照下さい。